

11 RC造タイル外壁へのリフォーム工法

11-1 設計・事前調査・施工上の注意点

本工法はRC造タイル外壁への乾式リフォーム工法です。従来の金属胴縁に加え、専用の部材を使用することで、サイディング施工後のタイル落下リスクを低減します。

1) 適合対象建築物

- 1981年(昭和56年)の建築基準法新耐震基準に適合する鉄筋コンクリート(RC)造建築物
- 上記建築物のうち、構造躯体および既存壁に十分な安全性が確認された建築物
- ※耐震診断・構造強度の診断は、「日本建築学会・日本建築防災協会・各種協会団体など」が発行する基準・指針などに従ってください。

2) 建築物の構造

- 構造躯体：(RC造)タイル仕上げ(新築を含む)
- ※タイルのサイズについては、60mm×230mm以下かつ厚み16mm以下とします。

表1 適用条件

		ニチハMARCシステム
		RC造 金属胴縁工法
地域		全国
耐風圧条件		平成12年度建設省告示1458号に基づき算出された設計風圧力が、モエン許容風圧力以下であること
施工高さ	モエン	横張り 高さ45m以下 縦張り 高さ16m以下
	センターサイディング	横張り 高さ16m以下 縦張り 高さ16m以下

3) 耐風圧性能

- モエンの施工法・下地ピッチ別の許容風圧力(負圧)はP20をご参照ください。建築物に想定される風圧力(負圧)より大きい許容風圧力の施工仕様を選定してください。
- センターサイディングの耐風圧性能は、P21をご参照ください。

4) 外壁防水基準

- 本リフォーム工法は、原則として新規サイディングと既存外壁(※)または防水紙との間に通気層を設ける外壁通気構法によって施工し、二重防水の機構にすることを基本とします。
- ※既存外壁の防水補修が困難な場合は、防水紙を既存外壁と胴縁の間に施工し、防水性能を確保してください。